学校番号	3020B

令和２年度　　公民科

教科	公民	科目	政治・経済②	単位数	1	年次	３年次後期
使用教科書	高等学校 政治・経済　（数研出版）						
副教材等	新政治・経済資料　（実教出版）　４ステージ演習ノート　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・政治や経済に関する基本的な用語や考え方等を学び、日本や世界の諸課題について考察していきます。授業プリント・副読本等を活用し、適宜復習をしながら学習を進めてください。
・時事的な問題についても学習する予定です。周囲の人たちと協力し、自分の意見を自分の言葉で表現できるように取り組んでください。

２　学習の到達目標

・責任ある主権者として行動できるようになる。そのために、日本の政治や経済の仕組みを理解する。
・国際社会の一員として、国際政治・国際経済の仕組みや問題・諸課題を理解する。
・現在生じている日本国内外の時事的な問題・諸問題等について関心を持ち、考察し、自分自身の意見を述べることができる。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：資料活用の技能	d：知識・理解
観点の趣旨	各国の政治・経済に関する諸課題への関心や意識を高め、主体的に国家・社会の形成に関わる主権者としての責務を果たそうとする。	政治・経済に関する時事的な問題等を、身に付けた知識などを用いて読み解き、考察することができる。	政治・経済に関する諸課題に関する資料を収集し、有用な情報を選択し読み取ったり、自分の力でまとめることができる。	政治・経済に関する基本的な用語が定着し、その知識を身につけているか。また、世界の問題と日本の問題を関連付けて理解しているか。
評価方法	ワークシート 学習状況の観察	定期考査	定期考査 レポート	定期考査 ノート・プリント
	[主題学習] グループワーク等の取組	[主題学習] レポート等	[主題学習] ワークシート	[主題学習] 内容のまとめ
	※　「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
後期	現代の経済	・現代経済の仕組みと特質	○	○			a:経済の特徴を理解しつつ、消費者や家計として経済とどのように関わることができるのかについて関心を高めている。 b:日本国内の経済に関する諸問題について問題の本質を考え、考察し適切に表現することができる。 c:設定された問題に対して、必要な諸資料を収集して読み取り、図表などにまとめている。 d:経済の 3 つの主体の役割や関係性、資本主義と社会主義の特徴などを理解し、知識を身に着けているか。	定期考査 グループワーク 学習状況の観察
		・国民経済と国際経済	○			○	a:国際経済の基本原理等を理解しつつ、時事的な問題をとらえ、関心を高めている。 b:世界の経済に関する諸問題について問題の本質を考え、考察することができる。 c:設定された問題に対して、必要な諸資料を収集して読み取り、図表などにまとめている。 b:国際経済に関する基本原理や各国の経済と世界の経済との関わりを理解し、知識を身に着けている。	定期考査 プリント 学習状況の観察
	現代社会の諸課題	・現代日本の政治や経済の諸課題 ・国際社会の政治や経済の諸課題		○ ○	○ ○		a:国内外の諸課題について、興味を持ち意欲的に追究しようとしている。 b:国内社会や国際社会の諸課題について、価値観や立場によって問題の捉え方が異なるということを理解しつつ、問題の本質を考察することができる。 c:設定された問題に対して、必要な諸資料を収集して読み取り、図表などにまとめている。 d:国内外の諸課題の基本的な知識や背景を理解し知識を身に着けている。	定期考査 内容のまとめ

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：資料活用の技能　　d：知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。